

健やかな毎日のために、 さらに安全・安心な環境を心がけてまいります。

コロナ禍が癒えないまま「まん延等防止措置」が解除され、区切りとなる新年度を迎えました。

年度替わりの人の流れの増加を心配する声も数多くあるようですが、完全な終息までは安全で安心なサービスを徹底して心がけていくことを、年度のスタートに当たって職員全員で改めて確認しました。

この一年、各地域での陽性者の散発的な発生による面会制限の実施等、ご利用者やご家族の皆さま方にはご心配ご迷惑をお掛けしました。また、昨今の状況では、市中感染でしょうか職員のご家族間での罹患の報告も多く、介護サービスの現場の非日常が続いておりました。大変申し訳なく思っております。

私たちの介護サービスの原点は、皆さまの健やかな毎日のために、日常生活のご支援を継続することと心得ております。「入所サービスであれば、ご自宅と変わらない毎日を。通所のサービスは、出歩くことでの社会参加を促し、皆さんと交流しながら必要に応じたりハビリを受け、管理の行き届いた食事をご提供する。」

適切な介護サービスのご提供は、専門の資格者の協働によってフレイルと認知症を予防するという強い思いが根底にあるからです。

この原点の思いを、ご家族の皆さまと共有していくことはとても重要なことと思います。

お一人おひとりのケアプランに沿い、適切な介護サービスのご提供によって、皆さまの健やかな日常をこれからもご支援してまいりたいと思います。



社会福祉法人 溪仁会
理事長 谷内 好

きもへつ喜らめきの郷・るすつ銀河の杜
喜らめき銀河タイムス

社会福祉法人 溪仁会 経営理念

一 安心・安全
二 信頼・満足
三 地域に貢献



留

寿都高等学校に

車いすを寄贈しました。

溪仁会グループでは、環境活動の一環として2008年からリングプルの収集を行っています。集まったリングプル（1個約0.5g）はおおよそ700kgで車いす1台へ交換が可能です。今回、活動後9台目となる車いすを、留寿都村へ寄贈し、福祉の道を志す学生を多く育てている北海道留寿都高等学校で活用していただけることとなりました。

3月9日に同校で行われた贈呈式では、留寿都村・留寿都村長 佐藤 ひさ子様より寄贈に対する感謝のお言葉と感謝状をいただきました。



写真 右 留寿都村長 佐藤 ひさ子様
写真 左 社会福祉法人 溪仁会 谷内 理事長

コロナウイルスやウクライナ情勢など、何かと暗い話題が多いですが。



笑顔多く、
皆さまの日常生活が
営まれています。



るすつ銀河の杜デイサービスは 感染症対策しながら営業を続けています。

定員10名の小規模のデイサービスです。コロナ禍によりデイサービス事業所では大きくご利用者が減ったところも多くありますが、銀河も杜デイサービスは、安心・安全にご利用いただけるよう、感染症対策を講じながら、今日もフル回転で営業して

- ・自宅のお風呂に入るのは大変。・家に閉じこもってばかりいる。
- ・人との関わりがほしい。・家族の介護負担を軽減したい。
- ・頭と身体の健康を維持したい。・日中活動の場がほしい。など

このようなお悩みがある方、心当たりのある方は、留寿都村・留寿都村包括支援センター・ケアプランセンターころようてい担当のケアマネジャーにご相談願います。見学や体験利用も可能

